

平成28年5月13日

# 風は東から

To be continued...  
to be continued...

インターハイ都大会目前 !!  
強豪:早稲田実業に挑む !!

インターハイ都大会の組み合わせは、最激戦グループに...

初戦の VS **早稲田実業** に勝って、**実践学園**にリベンジを挑む !!

5月3日(火)、**関東大会東京都大会決勝**が行われた赤羽の森競技場内で、**インターハイ都大会**の組み合わせ抽選会が行われました。各支部を勝ち抜いた**39校**と関東大会**ベスト16**(関東大会出場の二校を除く)の**53校**を八つのブロックに分けて一次トーナメントを行い、そこで、各ブロックを勝ち抜いた八校と関東大会出場二校(駒大高、成立)の**10校**が二次トーナメントを行い、インターハイ東京都代表の二校を決めます。東高は、先の関東大会でベスト16になったので**第二シード**ではありましたが、組み合わせ表を見ると8つのブロックの中で一番の激戦区に入ってしまった。都大会ともなれば、予選を勝ち上がってきたチームばかりなのでどこに対戦しても厳しいことには変わりはないのですが、それにしても初戦の相手が格上の強豪校**早稲田実業**(**T3**所属)とは、何とも今回についてはくじ運の悪さを恨むばかりです。ご存知のように早実は、伝統のある名門校でJリーガーも輩出しています。現在でも、Jリーグの下部組織からいい選手が集まる人気のチームで、選手権ではまだ全国大会出場はないものの、何度も東京都の決勝、準決勝まで勝ち上がっている強豪チームで、厳しいゲーム展開が予想されます。今大会の組み合わせ表を見ても、東高の入った**Eブロック**はおそらく一番の激戦区で、東高以外のチームは全て「**Tリーグ所属**」です。関東大会以上に厳しいゲームの連続となりますが、こうなったら、この組み合わせをポジティブに考えて、公式戦という真剣勝負の場で、東高サッカーの成果をチャレンジするには絶好のチャンスです。目の前の相手に全力で立ち向かっていこうと思います。

そして、あまり先は見たくはありませんが、関東大会の忘れ物をインターハイで取り戻せるように、強豪校ではありますが初戦の**早実戦**に勝利して、次戦の**実践学園**にリベンジを挑めるように、そこをモチベーションにして闘いたいと思います。



<GWには関東大会出場を決めた**日本航空**、**駒大高T3** チームとTRMを行い、**インターハイ**に挑む!!>

## 奥山智也氏が新たにスタッフに就任!!

二年間お世話になった岡林努コーチが、三月よりJ2の町田ゼルビアのフィジカルコーチのアシスタントに就任したため、今までのように定期的な指導が難しくなり、今後は臨時コーチとして東高には関わることになりました。子どもたちと関わった人が大舞台上で活躍することは喜ばしいことです。彼が駆け出しの頃から付き合ってきた自分としても今回の栄転は嬉しい限りです。岡林氏の今後の活躍を期待し、機会があれば、東高の子どもたちにも是非、還元して欲しいと思います。

さて、岡林コーチの異動に伴い、新井コーチの紹介で奥山智也氏が二月中旬より東高のストロングスコーチとして、子どもたちの身体づくりを指導して頂いています。今までは、パーソナルでの指導がメインだったのでチームスポーツのトレーニングに関わられて非常に嬉しいと意欲満々です。彼の競技歴としては、専門は陸上競技(長距離)で、趣味はトライアスロンだそうです。東高では、トレーニング指導の傍ら、子どもたちのゲームに感化されたのか?サッカーに目覚めてしまい早速、トレーニングシューズとサッカーグッズを購入し、先日、デビュー戦を飾りました。初心者とは思えないくらい、惜しい場面もありました。初ゴールがいつになるか楽しみですね…。

## 「覚悟」と「志」を持って、新入生が29名入部!!

今年も東高サッカー部の扉を叩いた新入生が29名入部しました。関東大会の関係で例年より遅いスタートになりましたが、入部説明会の後、早速、集団行動としてブラジル体操を行い。身体づくりの一環で多摩川ランニングを行っています。ゴールデンウィークにはTRMも行いましたが、まだまだ強豪校の一年生チームには太刀打ちできません。しかし、高校サッカーはここからです!! 焦らず、大切に育てていきたいと思えます。



<新入生恒例のタマラン、ブラ体は必須!! Y's トレーニングと栄養講習会も行いました>

### <After the Game>

関東大会でのチャレンジが終了して一ヶ月が過ぎようとしています。今週日曜日からは、いよいよインターハイ都大会が始まります。時間の経過は早いものです。今回はインターハイの地区大会が免除のため、その間、都大会に向けてしっかり準備ができました。途中、体調不良や怪我などでベストメンバーが組めず、地区トップリーグの天王山であるVS駒大高には残念ながら敗れてしまいましたが、課題の12番目以降の選手であるサブメンバーを起用することができ、選手の見極めとチーム力のアップを図ることができました。また、静岡・山梨県の強豪校(市立富士・日本航空)や都大会出場校ともTRMができたことも大きな収穫となり、今年のGWも例年以上に充実した時間を過ごすことができました。

インターハイ都大会は最激戦ブロックではありますが、今のチームであれば不可能を可能にする力を持っていると信じています。まずは、初戦の早稲田実業戦に東高のサッカースタイルで、全力で立ち向かっていきたいと思えます。応援宜しくお願いいたします!!